

令和7年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立日進小学校)

学校番号 051

【様式】

学 校 教 育 目 標	「はじめに子どもありき」の教育 ○児童一人ひとりが輝く学校 ○保護者にとって通わせてよかった学校 ○地域にあってよかった学校 ○教職員にとって勤めてよかった学校
目 指 す 学 校 像	
重 点 目 標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性と健やかな体の育成 3 開かれた学校づくり 4 安心・安全な教育環境の整備 5 教職員の資質向上と働き方改革の推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価								
		年 度 目 標												
		年 度 評 価												
学びの質の向上に 関する取組	番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日	令和	年	月	日	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
	1	〈現状〉 ○市の学習状況調査結果「学びに向かう力等」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、市平均を上回るもしくは同程度である。 〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査の結果分析から、設問に対する無回答率が高い傾向がみられる。 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査結果では、全国・市平均と比べやや下回っている。	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	①全国及び市の学習状況調査の結果をもとに、市教委の学力向上カウンセリング研修を受け、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。 ②児童が自ら学習を調整する探究型の授業を実践する。 ③各教科等のねらいの達成に向け、一人一台端末を積極的、効果的に活用した学習を推進する。	①調査結果の分析結果や学力向上カウンセリング研修を踏まえ、授業改善の視点、手立てを設定することができたか。 ②学習過程を工夫し、「学びのシンキングサイクル（仮称）」を実践する。 ③市の学習状況調査「週3回以上のPC使用率」80％以上。 ①～③学校自己評価に係るアンケートで「真剣な学び／進んで学習」への肯定的な回答が90％以上。									
	2	〈現状〉 ○学校評価アンケートで「児童は友だちと仲よく生活していますか」の肯定的な回答が、児童・保護者・地域とも95％以上の値である。 〈課題〉 ○市の学習状況調査結果「自分によいところがあると思いますか」の項目では、肯定的な回答が市平均をやや下回っている。 ○「心と生活のアンケート」からも自己肯定感が低が傾向がみられる。	児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談に向けた校内支援体制の充実	①保護者との「個人面談週間」や「にこにこ相談日」の設定と教職員の教育相談事例研修会やケース会議を開催する。 ②児童の発達過程を支え自己肯定感や自己有用感向上に資する「発達支持的生徒指導」を実践する。 ③「心と生活のアンケート」「おはようメー」等のデータを活用した課題の早期発見・早期対応に努める。	①「個人面談週間」や「にこにこ相談日」の設定と教育相談事例研修会やケース会議を開催したか。 ②学校評価「児童一人ひとりを大切にする教師」児童A評価60％以上。 ①～③学校評価アンケート「教職員は、保護者や児童からの相談や要望に対して、誠実に対応していますか」の肯定的回答が、児童・保護者ともに95％以上。									
	3	〈現状〉 ○学校運営協議会において、目指す学校像・児童・教師像をもとに学校・家庭・地域が連携・協力し、児童を地域全体で育てていくことを共有した。 ○市の学習状況調査結果「地域の行事に参加している」「地域の人たちは自分たちを見守り、支えてくれている」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、市平均を上回っている。 〈課題〉 ○教育活動や児童の様子及び学校運営協議会の内容を保護者・地域に周知し、協働活動の一層の推進を図る。 ○登下校の安全について、連絡体制や見守り体制を整備していく必要がある。	保護者・地域との連携・協働を重視したコミュニティ・スクールの進化	①児童参加型の学校運営協議会を開催し、児童と保護者・地域の方との意見交換の場を設け、保護者・地域とともに協働活動を進める。 ②PTAと連携して旗振りボランティア用アプリ（旗振り用メール）を導入し（5月）交代体制等を整備する。 ③学校に関わる人々が学校行事等についてHP上で閲覧できるようにし、学校の教育活動や児童の成長に対する関心を高める。	①児童参加型の学校運営協議会を開催することができたか。 ②PTAと連携して旗振りボランティア用アプリ（旗振り用メール）を導入し（5月）交代体制等を整備できたか。 ①～③学校評価アンケート「保護者にとって通わせてよかった学校」の保護者A回答40％以上。 ①～③学校評価アンケートで「地域にあってよかった学校」の地域A回答90％以上。									
	4	〈現状〉 ○施設の瑕疵等による児童の大きなけがは起こらなかったが、施設の老朽化が進んでいる。 ○リフレッシュ計画の延期に伴い、学校施設の改築・改修工事について、教育委員会と連携し、連絡調整を図っている。 〈課題〉 ○事故防止に向け、施設の安全点検を定期的に実施し、危険な箇所の修繕を進め、安心・安全な教育環境を維持していく。 ○教育活動の一層の充実に向け、重要度・必要度を踏まえた適切かつ適正な予算執行を行う。	安全・安心な学校施設の管理と計画的な予算執行	①チェックシートを活用した全職員による安全点検を毎月実施するとともに、管理職による目視・接触による点検を実施する。 ②学期ごとに予算会議を年間3回開催し、優先順位を踏まえた予算配分と執行を行う。	①危険・修繕箇所発見から対策を立て、1か月以内の改善に向けた対応を実施したか。 ②重要度・必要度を踏まえ、適正な予算執行に向け予算会議を年3回開催したか。 ②予算執行率95％以上。									
5	〈現状〉 ○学校課題研究を中心に、ICTを活用した児童の主体的な学びの育成に取り組んでいる。 ○会議の精選やデジタル化、ペーパーレス化をはじめ、業務改善に取り組んでいる。 〈課題〉 ○「量的な働き方改革」と「質的な働き方改革」をバランスよく進める。 ○時間外在校時間に個人差があり、学校業務の負担感や多忙感が教職員にみられる。	働きやすさ」と「働きがい」のある職場環境づくり	①研究主任を核とし、教職員のボトムアップによる研究を推進し、1人1研究・公開授業を実施する。 ②学校徴収金等のキャッシュレス化を導入する。 ③笑顔とユーモア、会話・対話の機会を重視し、同僚へのリスペクトを基本とした人間関係を構築する。	①1人1研究・公開授業を実施することができたか。児童が行う「学びの指標」アンケートの調査結果による平均値が、13.5ポイント以上。 ②学校徴収金等のキャッシュレス化を導入する。 ①～③学校自己評価に係る教職員アンケートで「勤めてよかった学校」への肯定的な回答95％以上。										